



自治労HP



ご意見フォーム



# じちろウ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合  
東京都千代田区六番町1  
TEL 03-3263-0273  
FAX 03-5210-7422  
定価一部30円

(組合員の購読料は  
組合費の中に含む)

91人の組合員が参加した12月6日の団体交渉で、提案の撤回を迫る

## 公立松任石川中央病院労組 人勤完全実施を獲得

公立松任石川中央病院(石川県白山市・企業団)は、  
昨年の人事院勧告の凍結を提案。同労組は組合員参加  
の大衆闘争でプラス人勤完全実施を勝ち取った。民間  
春闘の動向と診療報酬改定は医療従事者の賃上げに有  
利な一方、経営の厳しさを理由に賃上げを渋る公立病  
院も。「追い風」を生かすには交渉力が必要だ。



労使は対立しても  
『義理人情』は大切だ

南 正光 委員長



「今後は県の勧告準拠(情勢均衡原則)を基本とする」という最終確認書を2月26日に結んだ際、組合から「黒字経営達成のため労使双方においても努力する」の一文を加えた。厳しく対立した総務部長がGood!と親指を立てたことが印象に残る。労使は対立もするが、義理人情は大切だ、お互いに。

病院側は「4月以後、コロナ対策の支援補助金が大幅に減額され、経営が厳しい。勧告通りの実施は困難で凍結も考えている」と説明。組合は、「昨年までのコロナ補助金、患者受け入れで病院の決算は大幅赤字だ。一方的な勧告凍結は、到底組合員の理解を得られない」と撤回を要求(尾西

異変は、昨年10月下旬に組合が出した秋闘要求書に対する当局側の反応にあった。例年通りの「国の人事院勧告、県の人事委員会勧告を尊重した給与改定を行い、4月遡及支給、一時金改定を行うこと」という要求項目に対し、事務折衝に当たった当局側が口を濁した。「難しいかもしれない」。

この回答に組合員はもちろん、管理職からも疑問の声が上がる。県本部組織拡大専門員を交えた執行部交渉で改めて組合の意思を示した。12月1日の院内組合員集会には県本部の宮鍋正志委員長も駆けつけ、組合員の3割近い103人が参加。大衆団体交渉と撤回を求め、職場署名の実施を確認した。

12月6日の団体交渉には91人の組合員が参加。署名は12日間ではほぼ全員の組合員集会には県本部の宮鍋正志委員長も駆けつけ、組合員の3割近い103人が参加。大衆団体交渉と撤回を求め、職場署名の実施を確認した。

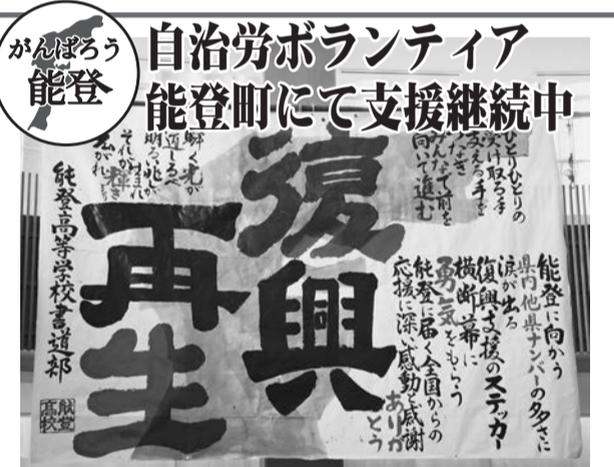
1月1日の能登半島地震で、松任石川中央病院は奥能登地域の病院から搬送された患者の受け入れ等を行う災害拠点病院の役割を担うことになる。騒然とした状況の中でも交渉を続けたこと、組合の臨時ニュースでこれらの情報を共有できたことが力になった」と振り返る。

# 賃上げ見送り提案越年で交渉 大衆団交で「撤回」勝ち取る

解説：2024年度診療報酬改定・6月賃上げ  
地域医療を守る公立病院の  
医療職員全員・一律ベアを

2024年の診療報酬改定で、ベースアップ評価料の新設と、入院基本料・初再診料の引き上げによる医療機関で働く職員の賃上げが措置された。地域医療を守る公立病院でも賃上げを確実に進めるため、自治労は次のように取り組む。

- ①医療機関で勤務する全ての職員の賃金を2.3%以上引き上げ、6月から賃上げ(遡及を含む)を求める。
- ②診療報酬改定による賃上げに関する要求書を提出し交渉を開始し、労使合意の上で賃上げを行うことを確認する。
- ③2024年6月3日までにベースアップ評価料を申請し、6月から算定させる。賃上げの対象者は、医療機関で勤務し直接雇用する全ての職員を対象とする。
- ④賃上げ方法は、人事院勧告とは分けて考えるため、月額手当による改善を基本とする。賃上げ額は全職員均一の賃上げ額、賃上げ開始時期は6月から実施を基本とする。



能登町役場の1階ロビーに掲げられている『復興再生』の力強い文字。能登高校書道部の作品

発災から約4カ月、石川県内では今も2151人が避難所での暮らしを余儀なくされている。(5月8日時点・石川県調べ)  
自治労では、5月12日〜18日の間、新潟・愛知・広島県本部で構成する第11グループが能登町の2カ所の避難所でボランティア活動を展開している。  
地域が前に進むきっかけに、との思いで制作された作品にパワーを感じる。誰一人取り残さず復興に向かう能登を支援していきたい(能登町職のインタビュー記事2面)。

幸せは、ひとりじゃつくりえない。

新入組合員の皆さん  
保障の第1歩は  
じちろウ共済で!

営利を目的としない生協が提供します

団体生命共済 入院・通院・手術など 自費の医療保障付き

長期共済 将来のための積み立てタイプの共済

ごみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部 全日本自治団体労働者共済生活協同組合

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。  
※契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

手続きは組合で  
新入組合員の方は  
継続募集期間以外も申し込みます。

じちろウ mobile

自治労ホームページ  
組合員限定ページ

※「自治労通信」も読めます  
パスワード: jichi2024



連合石川の復興支援コーナーに集う参加者

### 全国各地でメーデー集会 震災復興支援もアピール

連合は4月27日、第95回メーデー中央大会を東京・代々木公園で開いた。この日、全国各地でも地方連合会等によるメーデー集会が開かれた。

集会では芳野友子会長が、春闘で高い賃上げ回答が続いていることに触れ、「価格転嫁、価格交渉、環境整備」をすすめる、「労務費を含む適切な価格転嫁」という商習慣を根付かせよう」と述べた。

集会ではまた、連合石川の代表が登壇。能登半島地震への連合の支援ボランティアに感謝の言葉を述べ、「復興に向けて息の長い取り組みが必要。引き続きのご支援を」と訴えた。



集会でプラカードを掲げる参加者たち

### 憲法をいかす政治を 若い世代に向けたスピーチも

日本国憲法の施行から77年となった憲法記念日の5月3日、東京・有明防災公園で、「憲法大集会」が開催された。今年で10回目。参加者数は、約3万2000人（自治労は約500人）。「武力で平和はつくりたくない」「憲法をいかに政治を」の声をあげた。

集会では、伊藤真弁護士が憲法9条の重要性を訴えるスピーチをしたほか、核兵器廃絶運動に取り組む広島市立大学2年の大内由紀子さんが、「一人一人の力はわずかなけど無力ではない。少しのアクションでも取り組んでほしい」と、若い世代にも意識を向けてほしいと呼びかけた。

## 復興に向けて職員が前を向くために 課題は人員不足 働きやすい環境を作り 誰一人取り残さず歩む



Interview

能登町職 布浦洋平 執行委員長  
「休日も家の整理などに追われ、休息時間が取れない職員も多い」と話す布浦委員長(取材日: 4月22日)

建設水道課で上水道業務を担当しています。能登半島では2020年頃から地震が頻発していましたが、今回は過去に経験したことのない大きな揺れ方で、電力をはじめライフラインに大きな影響が出ました。震災当時、能登町全域が断水していましたが、ライフラインの再建は被災地において最優先事項であったので、迅速に復旧作業にあたりました。その際、自衛隊や日本水道協会を通じて全国の水道事業者からの給水支援や応急復旧作業支援を受け、感謝しています。

4月22日現在、断水解消率は95%程度となり、生活に落ち着きを取り戻しつつありますが、配管からの漏水発生など、課題は残っています。

人員不足と向き合い  
できることを模索

能登町は、人口約1万4700人に対して職員数約230人と少人数のため、災害時に全国から行政支援が入ってもらうことは非常に助かります。災害を通じて、自助や共助、公助の重要性を再認識しました。

今後は災害査定対応や漏水修繕、冬期に向けた仮設配管の凍結防止対策、被災した配管・施設の復旧工事などに取り組みます。課題は、圧倒的に職員の数が不足していることです。人口減少に引きずられ職員数も減少してきている上、若手職員の退職が増加傾向にある中で、みんなが働きやすい環境を作るために組合として何ができるかを考え、課題に対し、その都度柔軟に対応する必要があります。と強く感じます。

地域一体となった  
住民主体の復興計画を

能登地域は、この地に長く住んでいる方も多く、郷土に対する愛着が強い地域です。地震の後も「地元の結びつきを大切にしたい」という住民が多くいます。復興にあたって、町を元の状態に完全に戻すのは難しいですが、地元の懇談会をまめに開くなど、復興の主体である住民の方の意見に耳を傾けながら、地域一体となって復興に向けての歩みを進めていきたいです。

### ジェネレーションパズル

Generation Puzzle

## 答えと当選者の発表

「じちろう」第2364号(4月1日)のクロスワードパズルの正解と当選者の発表です。

たくさんのご応募ありがとうございました。

応募総数  
3,651人

委員チョウ  
書記チョウ  
シンサイくん

- ※敬称略
- |        |             |
|--------|-------------|
| 有村 優季  | 北海道・全道庁     |
| 阪口 瞳   | 北海道・和寒町職労   |
| 照井奈緒子  | 秋 田・美郷町職労   |
| 北口 和也  | 茨 城・阿見町職    |
| 高橋 勇貴  | 東 京・練馬区職労   |
| 滝澤 真実  | 長 野・千曲市職労   |
| 田淵 智美  | 石 川・七尾市職労   |
| 福田 美紀  | 愛 知・自治労名古屋  |
| 水口 佳那  | 岐 阜・大垣市労連   |
| 北村 千佳  | 和歌山・自治労海南市職 |
| 原口はるか  | 鳥 取・倉吉市職労   |
| 佐々木美由紀 | 島 根・県職労     |
| 青 智子   | 香 川・三豊市職労   |
| 萩野 香織  | 福 岡・国保労組    |
| 宮本絵里子  | 長 崎・五島市職労   |



BOOK

### 繊細な悩みをめぐる青春小説 「ブラザーズブラジャー」

佐原ひかり

4月13日に開催された自治労文芸コンクール関連企画で講演していただいた佐原ひかりさんの作品。

主人公は父親の再婚で新しい母親、弟と同居することに。弟がブラッシュンとしてブラジャーを着けることを知り、傷つけないように受け入れようとする。好きなことをしているだけなのに他人の目を気にしなければならない事に悩み、これまでの複雑な家庭事情

や、素直になれていなかった友人関係、ぎくしゃくしていく恋愛が織り交ざりながら、主人公は成長していく。

テーマ的にセンチタイプであるはずなのに何故か軽やか。青春の瞬間を駆け抜ける主人公の揺れる心情が丁寧な表現で描かれる。コミカルなやり取りも多く、読後感も重くない。

多様性の時代と言われて久しい。以前と比較すると理解は進んでいるように思われるが、まだまだ受け入れられていない状況も。もっと好きなことを素直にできるような社会になると良いねと感じる。様々な世代の方に読んでほしい一冊だ。

(永田 仁 長崎県職連合)

河出書房新社  
1,672円

## 自治労情報宣伝セミナー

### を開催します

経験者対象  
対面方式

参加者  
募集中

スキルアップをめざす実技中心の講座です

日程 2024年6月21日(金)11:00~22日(土)13:00

場所 自治労本部

内容 全体集会  
新聞づくり分科会 講師:水谷 一生(有限会社エディット)  
ピラづくり分科会 講師:ヨッシー・イリエ(自治労愛知県本部)

対面方式での実技講習です。プログラム詳細、参加申し込みは各県本部まで。  
締め切り6月7日(金)  
お問い合わせ:自治労総合企画総務局(報道担当)  
TEL03-3263-0273 Eメール: houdou@jichiro.gr.jp